

逆に
イケイケな黒ギャルを
自分好みの地味女に
してヤツた。



茸山屋

いよいよ俺は「シヨロ」に俺の正直な気持ち伝えることに決めた。
とほ「シヨロ」もまあまあ軽そうなんだから……。

「なあシヨロ」
んー？



今更だけど俺あんまり金髪って好きじゃないんだよなー
く、黒くしてみない？

はあ？ やだし

何であんたのためにそんなタサいこと

しなきゃいけないの？



じゃあ俺達別れるか

やっぱりダメか……じゃあせりゃいいからせりゃいい……



ハア！？

何で！？

俺気づいたんだけど地味な女の方が好きみたいなんだ
だからギャルのお前と無理して付き合っても……

なっ……



わかったよお……!!

髪黒くするからそんなこと言っちなよお……!!

おおっ!?

意外にもリョーコは俺の要求を受け入れた
好機と思い更に要求を上げてみる。



じゃあ化粧も薄くしてくれるか？
するってーするからあ………

よし約束だぞ
そんな泣くことならだろ……





その後リョーコはすぐに美容室に電話をかけていた。

リョーコがここまで俺に惚れていたとは知らなかったな
子供のように泣きじゃくるリョーコには
少し罪悪感を感じるくらいだったが……。

何にせよ次会う時が楽しみだ。

数
日
後



リヨールと会う機会があり部屋で待っているとインターホンが鳴る
ドアを開くとそこには黒髪になったリヨールが立っていた。



おっ黒髪なっつて……
んざんざん……ん

ああ似合ってるよやっぱり黒髪の方がかわいいな



そうなんだ……

しかし黒髪で多少は化粧も薄くなっただがまだ地味には程遠いな……

その黒目もコンタクト入れてるだろ？

外してみてくださいよ

ええっ？ これもお……？

リョー「は文句を言いながらしぶしぶコンタクトをはずした。



ほの……んわでらら？

へえ、お前そんな顔してたんだな
黒目小さいし薄めっていうか……

う、うるせーし！

素顔はダサいから嫌なんだよ……



いや、この顔の方が俺には最高に可愛く見えるぞ

ふえっ!?



うん今までで一番かわいいな
うう……お前おかしらって……

もしかすると「リヨ」は思ったより

地味子ポテンシャルが高いのかもしれない

俺の期待は膨らんでいく一方だ。



久しくしていない何度も舌を絡ませる熱烈な接吻をしてやる

(そっちからキスしてくるの久しぶりじゃん……髪黒くしたから……?)



久しくしていない何度も舌を絡ませる熱烈な接吻をしてやる

(そっちからキスしてくるの久しぶりじゃん……髪黒くしたから……?)

中略 ● ● ●



いやめ気持ち良かったよ
ふーん……私はそんな変わんなかったけど……



あと俺さ、肌も白い方がいいんだ
もう日サロで焼くのもやめてくれなうら……？
え……マジかよ……



うーん……

(でも……もっと地味になれば
もっとかわらがつてくれるの
かも……?)



わ、わかったよ……！
しょうがねーなあ！

しびしびではあるがリョーコは
再び俺の願いを聞き入れてくれた。

また一步俺の理想の地味子に近づく……楽しみだ。



A bedroom scene with a bed, window, and air conditioner. The room is dimly lit, suggesting evening or night. A bed with a white sheet and a dark blanket is in the foreground. A window with brown curtains is in the background, showing a view of a building. An air conditioner is mounted on the wall above the window. The text '三ヶ月後' is written vertically in the center of the image.

三ヶ月後

「ジョー」の肌はすっから本来の白さを取り戻していた。
そしてそれにより嬉しいサプライズもあった。



肌大分白くなったなあ……

黒い時は気づかなかったけど、お前そばかすあったんだな
言うなし……だから黒くしてたのじゃ……

いや、俺にはそばかすはプラス要素だぞ
むしろあって嬉しい

い、意味分かんないんですけど……



改めてリョーコの顔をまじまじと見つめる。

な、何さ……？

うん、かなり理想に近づいたな

……リョーコ……



じゃあもうと俺好みでっけなっ
はあ？ まあいらすと……





おはようございます.....

俺は理想の地味子を完成させる最後の仕上げに取り掛かった。

リョーコの髪型に手を加え、眉を太く描き、

地味子には欠かせないアイテムを

装着させる……。

■
■
■
■
■
■

いぞ目開けて

んっ……

ついにリョーコは俺の理想の地味子として完成した

リョーコはうっすらと目を開き生まれ変わった自分と対面する……



なっ……!!?

これがアタシ………？

何だよこれ！？

ダサすぎるって！！



リヨージは自分の姿に驚愕し顔をひきつらせているが
黒髪おさげにそばかす、欠かすことはできない眼鏡と
その奥にある地味な目元。

しかし身体は誰より肉付きが良くエロい。

これこそが俺の求めていた理想の地味子の姿そのものだった。



リヨージは自分の姿に驚愕し顔をひきつらせているが
黒髪おさげにそばかす、欠かすことはできない眼鏡と
その奥にある地味な目元。

続きは製品版で！

しかし身体は誰より肉付きが良くエロい。

これこそが俺の求めていた理想の地味子の姿そのものだった。

それにほら自分の姿見てみるよ

こんな地味なのに

ずっぼりちゃんぽ

ハメられててエロいだろ…

部屋の鏡には俺と繋がった

地味リョー」の姿が

映し出されてる



